

10月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
04/10/18 (月)	東京は小動き。時間外取引で原油価格が高値を更新したとの報道も影響は限定的に留まった。欧米はややドル小安い。米証券投資の流入額が7月を下回ったうえ、原油価格が反落したことを材料視。	・9月8～9日の日銀決定会合議事録要旨「何人かの委員はCPIが先行き小幅低下基調で推移するとの見方」 ・8月の米証券投資データは590億ドルの資金流入超	・福井日銀総裁「CPIが安定的にゼロを上回るまで量的緩和を継続」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.25	136.29	寄付
				109.08	136.12	安値
				109.58	136.90	高値
				109.24	136.47	終値
04/10/19 (火)	東京は引き続き小動き。終盤に若干ユーロ売りも見られたが大勢には影響なし。欧米はドルが独歩安。原油価格が大きく崩れたうえGMなどに対する報道がドル売りに繋がった。	・カナダが政策金利を25BP引き上げ ・9月の米住宅着工件数189.8万戸、同CPI0.2% ・CM、フォードがSECから年金会計処理で情報開示要請される、との一部報道あり	・小泉首相「デフレのなかで日銀は金利引き上げの判断をしない」 ・谷垣財務相「基本的にデフレ傾向は緩やかに続いている」 ・フー・SL連銀総裁「良好な雇用の伸びが期待できる」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.23	136.45	寄付
				108.25	135.45	安値
				109.43	136.55	高値
				108.38	135.63	終値
04/10/20 (水)	東京はゴト一日仲値不足思惑などでドル高で始まるも続かず。結局行って来い。欧米でユーロは一段高。対ドルでは一時1.26ドル台を示現している。この日は原油高がユーロ買い要因に。	・前日に続きSECがファニーメイへの調査に乗り出すとの報道あり ・米原油週間在庫統計でガソリンなどの在庫減少	・日銀レートチェックの噂あり	ドル円	ユーロ円	24H
				108.34	135.58	寄付
				108.09	135.49	安値
				108.66	136.65	高値
				108.23	136.26	終値
04/10/21 (木)	東京でドルは大幅安。前日欧米からの流れに続き米大統領の健康不安説がドル売りに拍車を掛けた。欧米も引き続きドル安。米経済指標などはほぼ予想通りでインパクトに欠けたが途中ロスカットの動きも。	・9月貿易黒字は1兆2376億円 ・9月の米コンファレンスボード景気先行指数 0.1%、10月FF連銀製造業景況指数28.5	・ブッシュ大統領が脳溢血で倒れたとの噂あり ・榊原元財務官「ドルは100円まで下落する可能性あり」 ・細川財務次官「為替はファンダメンタルズを反映した推移が望ましい」	ドル円	ユーロ円	24H
				108.24	136.28	寄付
				107.33	135.33	安値
				108.38	136.35	高値
				107.45	135.54	終値
04/10/22 (金)	東京は依然ドル安。イェン発言に加え中国GDPの好数字などからドル売り円買い目立つ。欧米はおおむねユーロ高。バラモ発言などユーロ高を容認する発言から欧州通貨買いが優勢と見られた。	・8月の第三次産業活動指数0.4% ・第3四半期の中国GDP9.1%	・イェンSF連銀総裁「ドル相場は貿易赤字を考慮すれば高水準」 ・谷垣財務相「米大統領選前の為替介入の有無、コメントにくい」 ・バラモECB理事「ユーロ高についてまったく懸念していない」	ドル円	ユーロ円	24H
				107.46	135.55	寄付
				107.18	135.46	安値
				107.74	136.04	高値
				107.21	135.86	終値
04/10/25 (月)	東京は円売り開始との見方とは裏腹にドル独歩安。対スイスフランでは8年ぶりの1.20台割れへ。欧米でドル安の流れ止まらず。とくに対ユーロでドルは一段安となり1.28ドル台を突破する局面も見られた。	・新潟中部大地震発生(24日) ・原油高再び、WTIは一時55.60ドル台まで ・10月独IFO景況指数95.3 ・9月の米中古住宅販売675万戸	・谷垣財務相「現在は円高というよりドル安」 ・細川財務次官「必要に応じ適切に対処」 ・渡辺財務官「現在の為替相場の動きは急激だ」	ドル円	ユーロ円	24H
				107.21	136.11	寄付
				106.21	135.71	安値
				107.39	136.87	高値
				106.72	136.69	終値
04/10/26 (火)	東京は106円後半で揉み合い。新規材料に乏しく積極的な動きは乏しかった。欧米は小幅にユーロ安。米経済指標の内容は悪かったものの、この日は米株が強含みで材料視されず。	・10月米消費者信頼感指数92.8 ・イラクで日本人男性が拘束される、とのニュースあり	・福井日銀総裁「量的緩和解除は情勢を判断して機動的にやる」 ・スノ-米財務長官「中国のドルヘッグは他国にとって迷惑の域にある」	ドル円	ユーロ円	24H
				106.71	136.68	寄付
				106.39	135.67	安値
				106.99	136.97	高値
				106.70	136.21	終値
04/10/27 (水)	前日のNYクローズ前後に報じられた拉致報道から東京はやや円安気味で寄り付くも大勢には影響なし。欧米は再びドル安。円売り材料少なくないも下がらないことから、ポジションを解消する動き目立つ。	・東京午前中に新潟中部で再び震度6の地震発生 ・9月の米耐久財受注0.2%、同新規住宅販売120.6万戸 ・米地区連銀報告「経済活動は9月から10月に掛けて引き続き拡大」	・シュレーダー-独首相「現在のユーロ相場を憂慮」 ・WSJ紙「米デルタ航空が連邦破産法適応申請か」 ・OPEC筋「ロシアに増産余力なし、原油価格は80ドルに達する可能性」	ドル円	ユーロ円	24H
				106.72	136.24	寄付
				106.21	135.18	安値
				107.15	136.52	高値
				106.44	135.33	終値
04/10/28 (木)	東京は朝方発表された経済指標悪化もあり円安スタート。しかし売りは続かず、その後はむしろ円独歩高。欧米は荒っぽい値動き。中国利上げに加え本邦介入警戒感などから円を中心に相場は右往左往。	・9月鉱工業生産 0.3% ・中国が9年ぶりに貸出金利を0.27%引き上げ ・日銀レートチェックの噂あり	・福井日銀総裁「量的緩和を長く続けること、絶対にいけない」 ・渡辺財務官「市場介入、必要なら断固措置する」 ・スノ-財務長官「中国の利上げは適切」	ドル円	ユーロ円	24H
				106.43	135.32	寄付
				105.89	134.79	安値
				106.95	135.55	高値
				106.28	135.46	終値
04/10/29 (金)	東京はアジア通貨が続いて高い。前日の中国利上げの影響から韓国ウォンなどが高く、円も連れ高に。欧米は揉み合い。米経済指標は好悪混在で材料にし難い。結局翌週の米大統領選待ちの様相に。	・9月失業率4.6% ・日銀が金融政策維持決定 ・財務省の市場介入、10月もゼロ ・第3四半期米GDP速報値3.7%、雇用コスト指数0.9%、10月ミシガン大指数91.7、同シカゴ購買部協会指数68.5	・谷垣財務相「ファンダメンタルズを超えた動きには適切な措置を取る」 ・イラクでアジア系と見られる遺体発見(26日拉致被害者とは別人) ・ビンラディンがアルジャジーラで声明、との一部ニュースあり	ドル円	ユーロ円	24H
				106.29	135.47	寄付
				105.78	134.88	安値
				106.37	135.52	高値
				105.80	135.40	終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>